

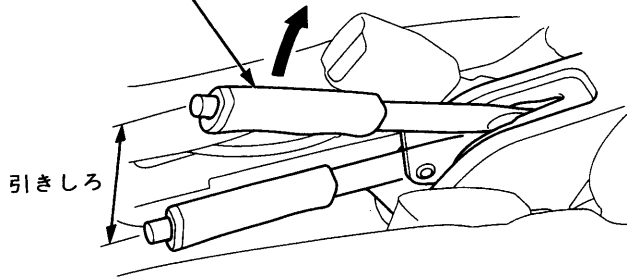
# パーキング ブレーキの 点検、調整

## 点検

パーキング ブレーキ レバーを完全に下げた状態からゆっくり引き上げ、196N{20kgf}の操作力でレバーがロックするときの引きしろ(ノッチ数)を点検する。

パーキング ブレーキ引きしろ：8-12ノッチ

パーキング  
ブレーキ レバー

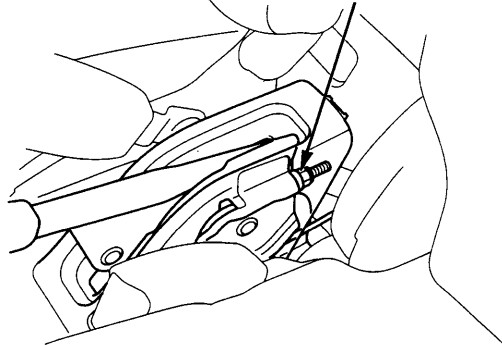


## 調整

★リヤ ブレーキ シューを取外した場合は、取付け後にブレーキ ペダルを数回強く踏込んでから調整を行う。

- ①パーキング ブレーキ レバーを完全にもどす。
- ②パーキング レバー リヤ カバーを取外す。(14章参照)
- ③パーキング ブレーキ レバーを1ノッチ引く。
- ④アジャスティング ナットをリヤ ホイールが軽く引きずりながら回るようになるまで締込む。

アジャスティング ナット



- ⑤パーキング ブレーキ レバーを戻し、リヤ ホイールを回して引きずりがないことを確認する。
- ⑥パーキング ブレーキの引きしろを点検する。  
パーキング ブレーキ引きしろ：8-12ノッチ  
(操作力196N{20kgf}でパーキング ブレーキ レバーを引いた状態)
- ⑦パーキング ブレーキ リヤ カバーを取付ける。(14章参照)

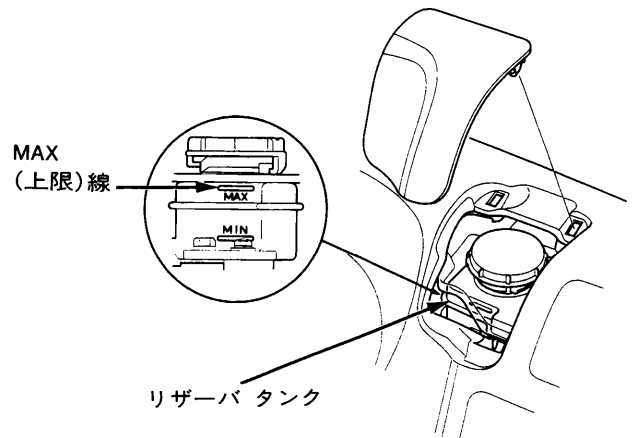
# エア抜き

25/26

## 注意

- ・ブレーキ フルード補給時に、ゴミや水を混入させないこと。
- ・化学変化を防止するため、銘柄の異なるブレーキ フルードを使用しないこと。
- ・ブレーキ フルードは、ホンダ純正ウルトラ ブレーキ フルードDOT 3またはDOT 4を使用すること。
- ・ブレーキ フルードは塗装を傷めるので、部品類に付着させないこと。付着した場合はすぐに水で洗い流すこと。その際に水がヒューズ ボックス等にかからないようにウエス等で保護すること。
- ・抜取ったブレーキ フルードは再使用しないこと。

- ①リザーバ タンクからキャップを外し、タンクからフルードおよび沈殿物を吸取る。
- ②タンク口元部にウエス等を巻き、ブレーキ フルードを飛散しないようにリザーバ タンクのMAX(上限)線まで補給する。



- ③ブリード スクリューに透明チューブを接続し、適当な容器でブレーキ フルードを受ける。
- ④アシスタントによってブレーキ ペダルをゆっくりと数回踏み込み、最後に強く踏込んだままにする。
- ⑤ブリード スクリューをゆるめて、ブレーキ フルードとともにエアを排出させる。フルードが勢いよく流れ出なくなったら(ブレーキ ペダルが底付きしたら)、ブリード スクリューを締める。
- ⑥ブリード スクリューからエアが出なくなるまで④⑤の手順を繰返した後、ブリード スクリューを規定トルクで締付ける。

★作業中にリザーバ タンク内のブレーキ フルードがなくならないように注意し、必要な場合は補給する。